参考様式B4（自己評価等関係）

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年4月26日　　事業所名　凜　近江八幡

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・玄関に椅子を置い	・室内に手すりも必要なので少しづつ改善していく予定。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・公開していない、ホームページに公開していないなど職員間での認識の違いもあり開示と同時に保護者に配っている事の周知が必要。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・話す人が決まっているため話さない人にある思いを引き出すような会議の仕方が必要
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・固定化しないように時々あたらしい活動の提案を行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・早めの段階から計画し行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別活動に力を入れて取り組んでいる ・集団活動委では体を動かせる活動に力を入れている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・打ち合わせをしてから支援を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・その日入った職員でその日に合ったことの共有をし、日誌に記録しほかの職員も後日見られるようにしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・記録が空白の時は周りの職員に聞くなどし、利用者の様子を聞き取り確認して書くことで情報を共有しあって記録を行い支援の改善につなげている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている		○		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・情報が入りにくい中で、自分たちから学校の先生に確認するようにし、また、保護者の方にも聞くように捨て情報を集めトラブル回避を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・医療的ケア児が今はいないが利用されることになれば対応する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・コロナ禍であり出来ていない。終息すれば積極的に交流していきたい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		・自立支援協議会には参加しているが職員に報告も行っているが認識されていないので全員に周知していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時に保護者とのコミュニケーションを大事にし、家庭での様子を聞き取り、事業所での様子を伝え、直面している課題を見つけ対応するようにしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者からの相談事はしっかり聞き取り、個人での回答はせず、一度持ち帰り検討したうえで答えを返すようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・集団活動の中に取り入れたりして訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・現在アレルギーの対応児はいないが利用されれば対応する	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・事業所内でのヒヤリハットの数も少なく、危機意識の向上のためにもヒヤリハットを活用していく事が目標。ヒヤリハットを書くことがいけない事、反省文と同じものと捉え、書かされたと捉える職員が多く自発的に書き改善していこうという認識が少ないので意識の改革も目標の一つ。

参考様式B3（自己評価等関係）

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年4月26日

事業所名　凜　近江八幡　　保護者等数（児童数）　24名　回収数　16名　　割合　66.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	4	0	0	・どちらともいえない…活動を拝見することがないので ・はい…広いスペースなのでコロナ禍で運動不足になりがちな中でも体を動かす活動を取り組んでもらい、発散できているようで助かっている	・活動風景の写真を年度末だけでなくこまめに保護者に公開し、見学の申し出があった場合にはその都度対応していく
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	4	0	0		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	1	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	4	1	0	・室内ばかりで公園など連れて行ってほしい	・コロナウイルスが終息したら外出活動を以前のように再開する。控えてほしいという家もある。室内でも十分に体を動かせて運動できるように考え活動内容を工夫している
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	8	7	1	・現在コロナ禍で控えているとは思うがまたいつか再開してほしい	・コロナが終息した際には交流する機会を設けたい
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	2	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	0	0	・まめに活動の様子を伝えてもらい（細かく）とても助かっている。又、安心している	・今後も引き続き子供の様子を伝え安心していただく
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	7	5	0	・コロナ禍なので仕方ない	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	5	0	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	0	・いつもまめに情報をもらい助かっている	・送迎時や連絡帳を活用しコミュニケーションをとっていく
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	2	0	0		
	14	個人情報に十分注意しているか	13	2	1	0	・いいえ…ほかの子どもの話を聞くときがある	・会話の内容が分からないが、個人情報には十分配慮していく

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	2	3	1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	5	0	1		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	1		
	18	事業所の支援に満足しているか	12	3	0	1	・コロナ禍の中でしたが、もう少し工夫をして頂き、散歩や公園のお出掛けもあって良かったのではと思いました	・疾患等を持っている方もおられ、コロナがどこでどのようにうつるのかはっきりした情報がない中での集団支援の中で、感染の可能性を最大限に減らすことを優先しての今年度の支援でしたのでご理解いただき、終息しましたら戸外で思い切り遊び、外出活動も増やしていきたいと思います

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。